

北海道中札内高等養護学校幕別分校 校長室より

季節が変わっても通学を頑張る生徒たち

幕別分校の大きな特徴に「自力通学」があります。毎日の通学では、不意の出来事がたくさんあり、それに対応する中で生徒たちはたくさんの成長を見せてくれます。



幕別にも霜が降り、雪もちらつき、いよいよ冬がやってきました。交通機関の時間が遅れたときや、足元が悪いときなど、どうやって通学（将来は「通勤」）するのか考えながら練習する毎日です。いろいろなことがあると思いますが、頑張っていな一と心から思います。



幕別高校の千葉同窓会長との対談

8日(金)、幕別高校の同窓会長である千葉幹雄様に学校にいらしていただき、今後の同窓会と幕別分校の関係について話し合う機会がありました。

千葉会長と話をすることで、幕別高校が地元にとってどれだけ大切にされた学校であったかを知りました。また、卒業した方々は様々な場所で国内や道内、十勝管内で活躍されていることを伺いました。



幕別高校が閉校してすぐにコロナの影響を受け、卒業生が母校を懐かしむために来校したり、記念室を訪れたりすることはほとんどありませんでしたが、本当は「学校に行きたい」と思っている卒業生は多いのではないかとと思います。千葉会長のお話を伺い、同窓会にとって、記念室だけではなく校舎や校地内全てが思い出の場所であることを再認識しました。

おそらくこれからも、地元に残る幕別高校の校舎を懐かしく思う方々は、幕別分校にとって大きな応援団となってくれることと思っています。これからもよい関係性を築いていくことが必要だと考えています。



民生委員の方々が学校にいらっしゃいました

浦幌町の民生委員の方々が学校視察に訪れました。校内見学と就労についての説明をし、「幕別分校では将来の自立に向けた学習をしており、保護者にとっても安心できる。」などの感想をいただきました。地域の方々を支える民生委員の方々に特別支援学校の取組を知っていただくこと、大変うれしいです。

